

10月6日 石見聞真会 創立100周年記念大会

石見聞真会とは石見を中心に活動するお坊さんの伝道グループです。

この度結成100周年に当たり、浄光寺の本堂で記念大会が開催されました。小川先生の講題「いのちを考える」記念講演と、二胡奏者の姜曉艶先生の演奏のご縁にお逢いしました。当山の総代さん仏婦さんもお手伝いしました。



小川一乗先生

中国の伝統楽器二胡が奏でる哀愁の調べに心を揺さ振られとても癒されました。



姜 曉艶先生と記念写真

11月19・20・21日 報恩講をお迎えして

桑原浄昭先生をご講師にお迎えして「お聴聞のすばらしさ」の演題でご法座が勤まり、親鸞様のみ教えにおあいしました。

庫裡では仏婦の方々が心を込めて準備されたお齋を、おいしく頂きました。

お寺に足を運んで聴聞させていただく事がどれだけ大切か良く解りました。このご縁にお逢出来た事、本当に有難うございました。



桑原浄昭先生



お荘厳のお団子作り
(和木地区)



お齋の準備(仏婦の皆さん)



お齋美味しく頂きました



12月15日 すず払い例会&お楽しみ会

今年も恒例のすず払い例会が終了しました。年末の忙しい時期なので参加者(29名)が少なく心配でしたが、寒い中、境内の落葉の清掃、本堂の畳拭き、冷たい雑巾かけ、便所掃除等、皆で頑張って綺麗になりました。

その後、反省会に移り、豆乳なべ、ぶりのお刺身、ぶり大根、おすしなどをいただきました。おなべの温かさと、こんなに美味しく心を込めて準備して下さった方の温かさを感じ、芯底冷えていた体がぽかぽかと温もり、心身ともに幸せになりました。同じ鍋を囲み和やかに話が弾み、皆様の幸せそうな姿に坊守様から「嫌な顔もせず、何時も参加してくれて、ありがとう、とても感謝しています」とのお礼があり、とても嬉しく思いました。



平成19年 10月28日 浩爾様光明寺住職継職披露法要



記念に寄贈された七条袈裟で導師を務めました

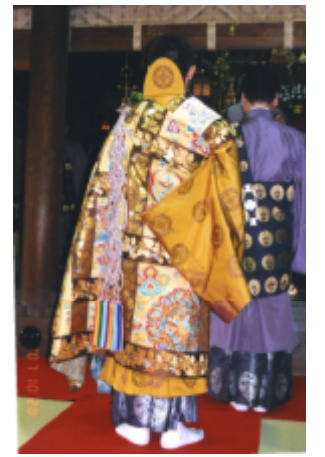
この度浄光寺より広島大竹の光明寺に入寺された浩爾様の、光明寺十五世住職継職報告法要が盛大に執り行われました。浄光寺からは総代5名、仏婦18名がお祝いに参拝しました。

当日の島根の気候は雷雨の荒れ模様でしたが、広島に近づくにつれ小春日和の晴天となり、あたたかも浩爾様のこれからの人生に幸あれ、とばかりお日様も燦々と輝いた一日でした。

子供の頃から存知あげている、あの浩爾様が、こんなに立派に成長され、光明寺十五世住職としての堂々したお姿を御見受けする度、頼もしくも、誇らしくもあり、熱いものがこみ上げてきました。

この感激を、参加されなかった方に少しでもおすそ分け出来れば、との思いで写真を撮りました。不出来ですがご紹介させていただきます。

牛尾典子



本願寺より住職に任命された伝達式



光明寺山門前にて